

女子大生の恋愛と結婚に対する意識調査（第2報）

——理想の男性像に関する意識と、好きな男性有名人のイメージとの関係——

三木 幹子

(2016年10月11日 受理)

Female College Students' Views on Love and Marriage (Part 2) —— A Relation between Women's Consciousness toward their Ideal Images of Men and their Images of their Favorite Male Idols ——

Motoko MIKI

Abstract

By analyzing women's romantic views about their favorite male Idols and their images from the results of a questionnaire given to female college students and considering the relation of women's consciousness toward their ideal images of men, this paper clarifies as follows:

- Female college students who prefer intellectual male Idols not popular among girls are more likely to prefer men who are not interested in fashion or straightforward with women.
- Female college students who don't like male Idols with a keen interest in fashion are more likely to prefer men who are not straightforward with women, and to regard men's personalities as more important than their appearances.
- Female college students who prefer young-boy like male Idols are more likely to want men to rely on them and to look for men with strong maternal instincts.

Keywords: 官能評価, 結婚観, 恋愛観, 男性アイドル

1. はじめに

前報¹⁾において、女性が求める理想の男性像の範囲を明らかにするために、女子大学生を対象に、恋愛と結婚相手の条件、および理想の男性と男性の日常行動・性格・恋愛特性などに関する許容範囲についてアンケート調査を行った。その結果、女性が結婚相手に求める条件の1位は経済力であり、また経済力を重視するか否かによって、男性の許容範囲の意識に差が見られた。

このような許容できる男性の行動や性格の違いは、被験者の女性の価値観やライフスタイル、および個人的な「異性の好み（タイプ）」等と関係が深いと考えるが、それでは女性は理想的な男性の具体像をどのように捉えているのであろうか。

そこで、本研究では被験者である学生に好きな男性有名人を挙げてもらい、また男性有名人にどのような印象を持っているのかを回答してもらうことにより、理想の男性の具体像と、男性の許容意識との関係について考察を行う。

2. 調査方法

(1) 調査時期

2010年～2012年、および2014年

(2) 調査対象

被験者は広島女学院大学学生636名である。

(3) 調査内容

質問紙法によるアンケート調査を実施した。

1) 好きな男性有名人調査

被験者が好きな男性有名人（タレント、アイドル、俳優、歌手・アーティスト、モデル、スポーツ選手等）を3人まで回答してもらった。

2) 好きな男性有名人のイメージ評価

1) で挙げた男性有名人のイメージについて評価してもらった。評価にはSD法を用い、男性のイメージを表す形容語対16項目を設定し、各有名人について、“そう思う”“ややそう思う”“どちらでもない”“ややそう思う”“そう思う”の5段階で回答してもらった。評価に用いた形容語対を表1に示す。

3) 理想の男性と男性の許容範囲についての意識調査

前報¹⁾において、理想の男性および男性の許容範囲に関する意識調査アンケートを行った。質問項目および因子分析結果を表3に示す。

3. 結果・考察

(1) 好きな男性有名人とイメージ評価

1) 因子分析

女子大学生の好きな男性有名人に対するイメージの基本因子を抽出するために、16個の形容語対を変数に、全被験者の男性有名人に対する評価を観測回数として因子分析を行った。因子分析には主因子法を用い、バリマックス回転法により、軸回転後の因子負荷量および各被験者の因子得点を求めた。

因子分析を行った結果、表1に示す4因子が抽出された。

因子負荷量より各因子の意味を検討した結果、第1因子は、「知的－おバカ」「大人っぽい－少年っぽい」「優等生－やんちゃ」等の因子負荷量が高い値を示していることから、“知的因子”と解釈した。

第2因子は、「イケメン－普通」「モてる－モテない」の因子負荷量が高い値を示しているこ

表1 因子分析（好きな男性有名人のイメージ評価）

因子負荷量：回転後（バリマックス法）

変数名	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子
	知的因子	イケメン因子	男らしさ因子	誠実さ因子
知的－おバカ	0.7537	0.1242	0.1094	0.0878
大人っぽい－少年っぽい	0.6819	0.2038	0.3447	-0.1108
優等生－やんちゃ	0.6755	0.0849	-0.1368	0.2610
ミステリアス－わかりやすい	0.4880	0.0750	-0.0005	-0.0756
イケメン－普通	0.1301	0.7635	0.0478	0.0290
モてる－モテない	0.0832	0.7522	0.1233	0.0570
おしゃれ－ダサい	0.0965	0.4961	0.1505	0.0511
男らしい－男らしくない	0.2288	0.2762	0.6377	-0.0049
頼りになる－頼りない	0.3350	0.2135	0.5635	0.2610
セクシー－さわやか	0.2910	0.3013	0.4200	-0.1236
面白い－面白くない	-0.1990	0.0357	0.3722	0.2532
個性的－平凡	0.0192	-0.0132	0.2501	0.1527
草食系－肉食系	0.1149	-0.0964	-0.5810	0.2871
性格がよい－よくない	0.0255	0.0757	0.1611	0.6997
浮気しない－遊び人	0.1417	-0.0263	0.0369	0.6572
母性本能をくすぐる－くすぐらない	-0.2041	0.1121	-0.1356	0.3069
固有値	2.1255	1.7072	1.6746	1.3696
寄与率（%）	13.28%	10.67%	10.47%	8.56%
累積寄与率（%）	13.28%	23.95%	34.42%	42.98%

とから、「イケメン因子」と解釈した。

第3因子は、「男らしい-男らしくない」「頼りになる-頼りない」「草食系-肉食系（マイナス値）」の因子負荷量が高い値を示していることから、「男らしさ因子」と解釈した。

第4因子は、「性格がよい-よくない」「浮気しない-遊び人」の因子負荷量が高い値を示していることから、「誠実さ因子」と解釈した。

女性が好きな男性有名人のイメージは、これら4因子が基本となっているといえる。

2) 因子得点の分布

今回の調査で名前が挙がった男性有名人の内、10以上の票数を得た人物について、各因子に対する因子得点の平均を算出した。各男性有名人の票数の内訳を表2に示す。

第1因子を横軸に第2因子を縦軸にとり、各男性有名人の結果を分布させた分布図を図1に、第3因子と第4因子を横軸と縦軸にとった分布図を図2に示す。

図1より、第1因子“知的因子”がプラス、第2因子“イケメン因子”がプラスの領域に分布している男性有名人は、知的で大人っぽく、「イケメン」で「女性にモテる」と評価されている。この領域を「A完璧男子」と定義する。この領域には、テレビドラマ等で活躍している若手人気男性俳優が多く分布している。被験者は、彼らが演じている主人公の役柄と、理想の男性像を重ね合わせて評価していると思われる。

第1因子がプラス、第2因子がマイナスの領域に分布している男性有名人は、知的で大人だが、容姿は平凡であると評価されている。この領域を「B優等生」と定義する。この領域には、実年齢も大人であるベテラン俳優や、個性的な役柄を演じる実力派俳優（注1）、ニュースキャスターも務める高学歴人気アイドル（注2）などが分布している。彼らの実績や才能が、支持されている要因ではないだろうか。

第1因子がマイナス、第2因子がプラスの領域に分布している男性有名人は、イケメンだが、知的さに欠けた“やんちゃ”な少年タイプであると評価されている。この領域を「Cヒーロー」と定義する。この領域には、学園ドラマに出演した経歴を持つ若手男性俳優が多く分布している。ドラマの

表2 好きな男性有名人一覧

名前	票数 (人)
向井理	71
佐藤健	40
生田斗真	37
玉木宏	37
成宮寛貴	35
市原隼人	29
岡田将生	29
三浦翔平	29
福山雅治	28
櫻井翔	27
小栗旬	26
相葉雅紀	25
水嶋ヒロ	25
瑛太	24
三浦春馬	23
溝端淳平	21
山下智久	18
竹野内豊	17
松田翔太	17
松山ケンイチ	17
大野智	16
小出恵介	16
二宮和也	16
TAKAHIRO (EXILE)	15
西島秀俊	15
阿部寛	14
妻夫木聡	14
小池徹平	13
佐々木蔵之介	13
松本潤	13
木村拓哉	11
速水もこみち	10

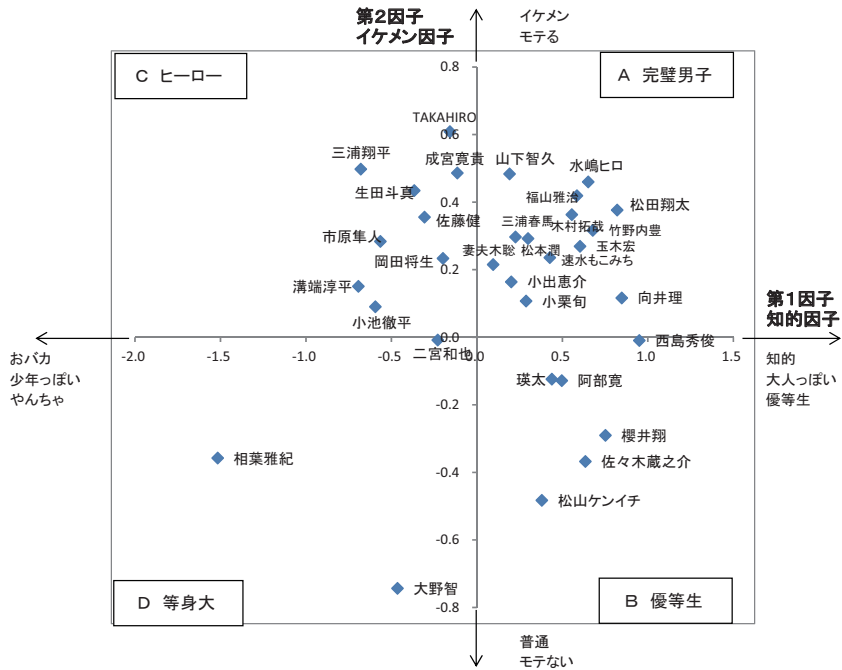


図1 男性有名人のイメージ評価 因子得点の分布（第1因子と第2因子）

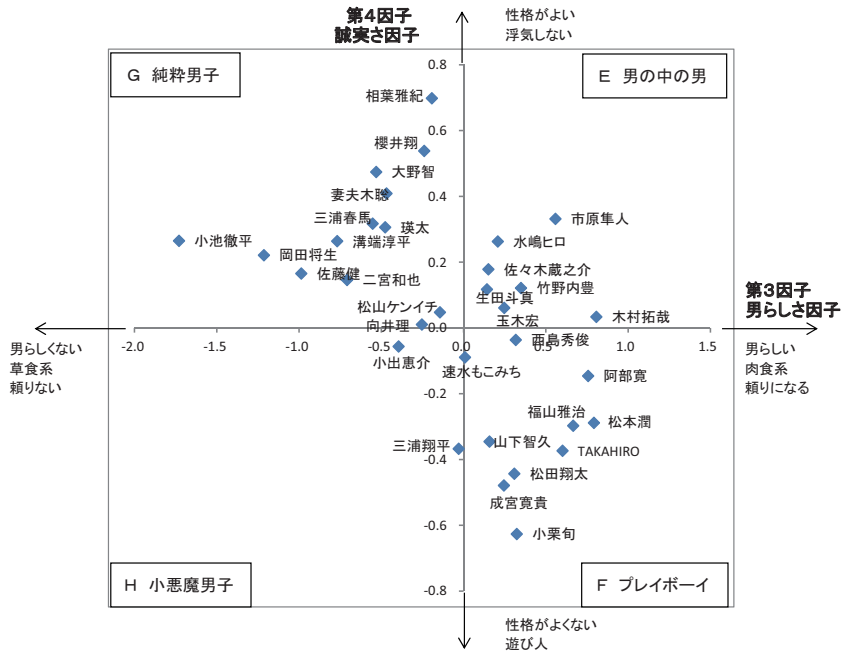


図2 男性有名人のイメージ評価 因子得点の分布（第3因子と第4因子）

中では、学校で落ちこぼれて、家庭環境に問題を抱えた不良少年が、スポーツ、教師との絆、仲間との友情によって更正していく姿が描かれている（注3）。いわゆる「不良っぽい」男性は、これまでも幾度か、流行・ブーム（注4）が起こったことがあり、女性が惹かれる要素のひとつであるといえる。

第1因子、第2因子共にマイナスの領域に分布している男性は、少年っぽく、知的ではない印象で、また容姿も普通であると評価されている。この領域を「D等身大」と定義する。この領域には、現在最も人気がある男性アイドルグループ（注5）のメンバーが数名分布している。本来この領域はネガティブな印象であるため、分布する対象は少ないが、彼らのファンである被験者は、身近で親しみやすい人間性に惹かれているのではないかと考える。

図2より、第3因子“男らしさ因子”がプラス、第4因子“誠実さ因子”がプラスの領域に分布している男性は、男らしく、頼りになり、女性に誠実な男性であると評価されている。この領域を「E男の中の男」と定義する。この領域には、テレビドラマや映画で、刑事、検事、戦国武将、医者、戦隊ヒーロー（注6）を演じた男性俳優が多く分布している。

第3因子がプラス、第4因子がマイナスの領域に分布している男性は、男らしいが浮気をしそうな遊び人であると評価されている。この領域を「Fプレイボーイ」と定義する。この領域に分布している男性有名人は、ドラマなどでプレイボーイ役（注7）を演じた経験があり、また、女性雑誌等の好きな男性タレント特集において、上位にランキング（注8）された経験を持つ。

第3因子がマイナス、第4因子がプラスの領域に分布している男性は、「頼りない・草食系男子」であるが、女性に誠実であると評価されている。この領域を「G純粋男子」と定義する。この領域に分布している男性有名人は、若手俳優や人気アイドルグループのメンバーが多い。ドラマやCMでは、頼りないが一生懸命仕事に取り組む社員や学生を演じており（注9）、そのイメージが反映された結果と考える。

第3因子、第4因子共にマイナスの領域に分布している男性有名人は、「男らしくない」、「誠実さに欠ける」と評価されている。この領域を「H小悪魔男子」と定義する。この領域に分布している男性は少なく、マイナスの評価値も小さい。したがって、被験者の女子大生は、この領域のイメージを持つ男性を支持することは減多にないと思われる。

（2）好きな男性有名人とイメージ評価と、理想の男性像に関する意識調査との関係

前述の（1）における男性有名人のイメージ評価の結果と、前報において行った、理想の男性および男性の許容範囲に関する意識調査アンケート（以下、理想の男性像に関する意識調査）の分析結果（表3）との関係について考察を行った。

表3 因子分析（理想の男性に関する意識調査）

因子負荷量：回転後（バリマックス法）

変数名	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子
	優柔不断・ 草食系男子	おしゃれ 男子	非束縛	経済観念
・会社で出世したいという希望はない男性	0.5911	-0.0892	0.1652	0.0294
・自分の車を欲しいと思っていない男性	0.5102	-0.0780	0.1983	0.1435
・周囲から変わり者だと思われる男性	0.4961	0.0765	0.0512	0.0500
・レストランでメニューをなかなか決められない男性	0.4733	0.0124	-0.1137	0.1580
・休日は外出せずに、家でダラ～っとしていたい男性	0.4544	-0.0148	0.1499	0.0626
・涙もろくて、感動すると人前でも号泣する男性	0.4176	0.0752	-0.0608	0.0773
・新聞やニュースはあまり見ない男性	0.4022	0.0743	0.0034	-0.0631
・毎日、同じ服を着ている男性	0.3691	-0.0258	-0.0639	-0.0100
・占いや迷信を信じている男性	0.3671	0.1732	-0.1207	0.1170
・他人におごることが嫌い（ワリカン主義）な男性	0.3664	-0.1802	0.0766	0.3067
・友達から「お金を貸して」と頼まれると断れない男性	0.3537	0.1102	-0.0658	-0.1246
・香水やオードトワレを付けている男性	-0.0990	0.6884	-0.0710	0.0798
・持ち物や服のブランドにこだわる男性	-0.0966	0.6601	-0.0674	0.0982
・耳にピアスをしている男性	0.0780	0.5656	0.0388	-0.0590
・高級外車を乗り回したい男性	-0.0379	0.5231	-0.0851	0.0361
・毎日、髪の毛をセットするのに時間を掛ける男性	0.2010	0.4582	-0.0855	0.1441
・正直、自分をイケメン（いい男）だと思っている男性	0.3155	0.4162	0.0316	-0.0838
・女性用ファッションアイテムを自分のおしゃれに取り入れる男性	0.3210	0.3427	0.1510	0.0433
・地道に働くよりも、自分の夢を追いかけたい男性	0.2581	0.2707	-0.0123	-0.0126
・恋人を束縛したくないし、自分も束縛されたくない男性	0.0449	0.0301	0.5974	0.2592
・自分の彼女が男友達や男の同僚と飲みに行っても干渉しない男性	0.0491	0.0572	0.5457	0.2055
・別れた元カノ（恋人）と友達関係を続けられる男性	0.1543	0.1424	0.3531	0.1523
・1日に何度も彼女にメールや電話をしてしまう男性	0.0342	0.2023	-0.5927	0.0017
・記念日やイベント（クリスマス、バレンタイン）にすごくこだわる男性	-0.1065	0.2582	-0.4652	0.2207
・彼女の携帯をチェックしたがる男性	0.0950	-0.1007	-0.4180	0.0138
・仕事や勉強より彼女のことを優先する男性	0.0888	0.1002	-0.3140	0.0709
・デートの時は彼女のバッグを持ってあげる男性	-0.0272	0.0700	-0.3023	0.1536
・お金の管理がきちっとしている（細かい）男性	0.0898	0.0198	0.0048	0.5866
・将来のためにコツコツと貯金をしている（貯金が趣味の）男性	0.0077	0.0110	-0.0285	0.5793
・几帳面できれい好き。机や部屋はきちっと整理整頓している男性	0.0362	0.1609	0.0404	0.4376
・妻には結婚後も働いていて欲しい男性	0.1093	-0.0159	0.2939	0.2982
固有値	2.5690	2.3675	1.9874	1.4070
寄与率（%）	8.29	7.64	6.41	4.54
累積寄与率（%）	8.29	15.92	22.33	26.87

好きな男性有名人ごとに、その男性有名人の名前を挙げた被験者の、理想の男性像に関する意識調査の各因子に対する因子得点の平均値を算出し、座標軸上に分布させた。使用した男性有名人は、前述の(1)の有名人に加え、表4に示す各カテゴリーに属する男性有名人の名前を挙げた被験者の因子得点も分布させている。

図3-1、図3-2は、理想の男性像に関する意識調査の第1因子“優柔不断・草食系男子”を横軸に、第2因子“おしゃれ男子”を縦軸にとった座標軸上に、各男性有名人を選んだ被験者の因子得点の平均値を分布させたグラフである。また、男性有名人を、(1)の分析結果で定義したA～Hの領域ごとに、記号と色を変えて表示している。

図3-1より、第1因子、第2因子共にプラスの領域に分布している被験者、すなわち、おしゃれな草食系男子が好き（許容できる）という意識が高い女子大生が選んだ男性有名人は、若手

表4 好きな男性カテゴリー内訳一覧

<スポーツ選手>		<お笑い芸人 (ベテラン)>	
名前	票数 (人)	名前	票数 (人)
内田篤人	7	若林正泰 (オードリー)	7
坂本勇人	4	岡村隆史	2
佐々木健介	4	高橋茂雄 (サバンナ)	2
内村航平	2	宮川大輔	2
川島永嗣	2	山口智充	2
堂林翔太	2	田村淳	2
前田健太	2	その他	25
涌井秀章	2	合計	42
井波靖奈	2		
その他	19	<お笑い芸人 (若手)>	
合計	46	名前	票数 (人)
<大人俳優 (45歳以上)>		徳井義実 (チュートリアル)	7
名前	票数 (人)	綾部祐二 (ピース)	4
大沢たかお	6	井上聡 (次長課長)	2
堤真一	6	後藤淳平 (ジャルジャル)	2
館ひろし	5	藤森慎吾 (オリエンタルラジオ)	2
北村一輝	4	村上健志 (フルーツポンチ)	2
江口洋介	3	村上純 (しずる)	2
椎名結平	3	その他	3
仲村トオル	3	合計	24
香川照之	2		
唐沢寿明	2		
細川茂樹	2		
その他	21		
合計	57		

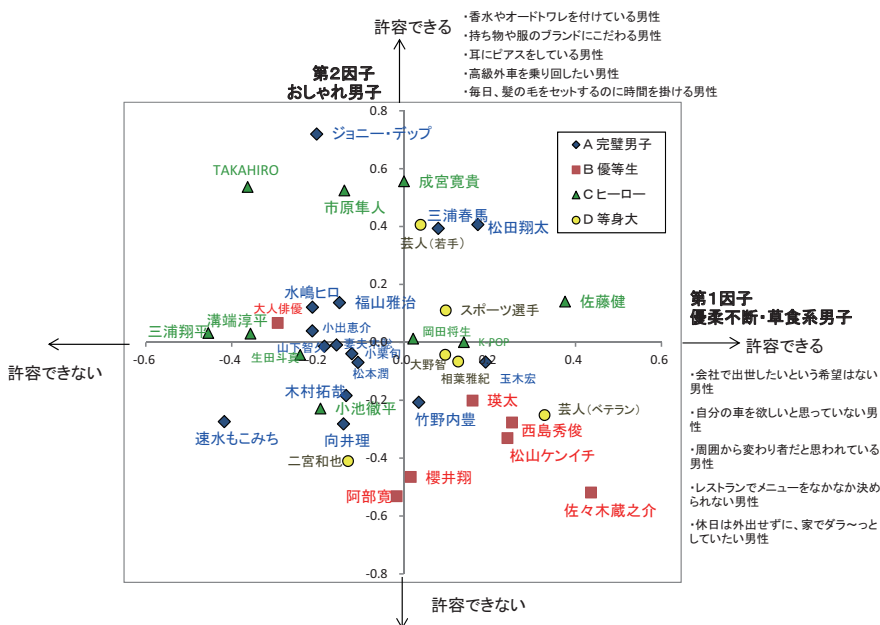


図 3-1 理想の男性像に関する意識調査 因子得点の分布（第1因子と第2因子）
～好きな男性タレントのイメージ評価（A～Dタイプ）による比較～

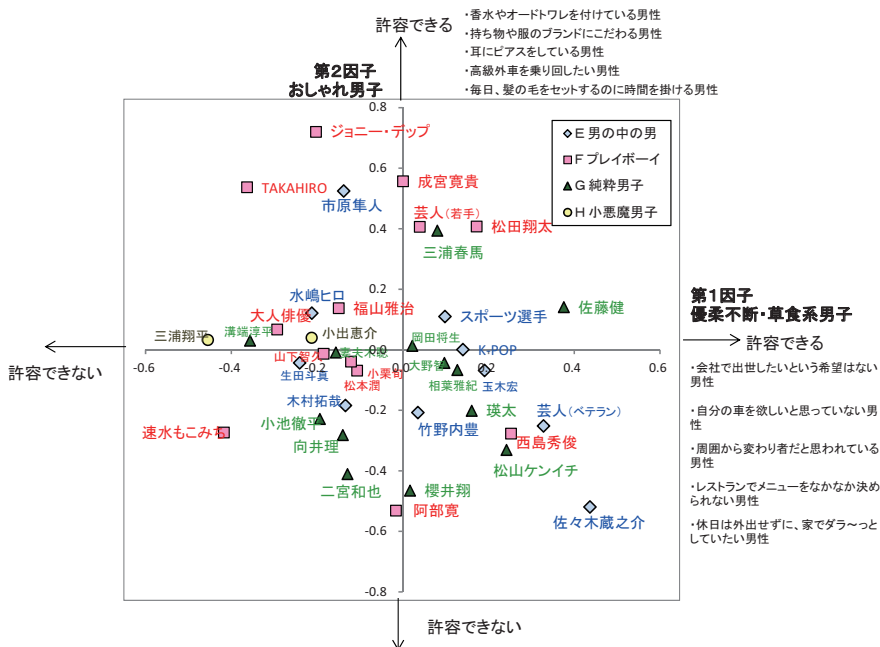


図 3-2 理想の男性像に関する意識調査 因子得点の分布（第1因子と第2因子）
～好きな男性タレントのイメージ評価（E～Hタイプ）による比較～

の男性俳優が多い。イメージ評価は、「A完璧男子」、「Cヒーロー」、「D等身大」が分布しており、特に一貫性は見られなかった。また、この領域には、スポーツ選手と若手芸人のカテゴリーが分布していることから、以前は注目されなかったカテゴリーのおしゃれな男性有名人が、理想の男性像になったことは最近の傾向といえる。

第1因子がプラス、第2因子がマイナスの領域に分布している被験者は、おしゃれに無頓着な草食系男子が好きという意識が高い。これらの被験者が選んだ男性有名人は、年配またはベテランの俳優や芸人の名前が目立つ。また、イメージ評価では、「B優等生」と評価された男性が多いことがわかる。草食系（＝優柔不断）で、おしゃれではない男性を好むということは、優しくて、自分のスタイルを持っている（流行に左右されない）男性を好むと言い換えることができる。この領域の被験者にとって、落ち着いた大人の男性が理想であると思われる。

第1因子がマイナス、第2因子がプラスの領域に分布している被験者は、おしゃれな男性が理想であるが、優柔不断な草食系男子を許容できないという意識が高い。これらの被験者が好きな男性有名人として、男性ダンス・ボーカルユニットのメンバー（注10）や、ハリウッドの人気俳優（注11）、若手人気俳優などが挙げられる。イメージ評価は「Cヒーロー」のカテゴリーの男性が多く分布している。顔が整った少年のような心を持った男性をイメージしているようだ。

第1因子、第2因子共にマイナスの領域に分布している被験者は、草食系男子とおしゃれに関心が高い男子のどちらも許容できない＝おしゃれに無頓着な肉食系男子（いわゆる硬派な日本男児）が理想、という意識が高い女性である。この領域に分布している男性有名人は、国民的アイドルグループのメンバー（注12）、理系出身の男性俳優（注13）、料理本を出版している男性俳優（注14）など、特徴に一貫性がみられない。イメージ評価の結果については、「A完璧男子」と評価された男性が比較的多く分布している。すなわち、「知的で、大人の、イケメン男性」というイメージである。このイメージの中には、「料理が得意で家庭的な男性」（注15）という意味合いも含まれている。

男性有名人のイメージA～Dの、特徴的な分布の傾向として、「A完璧男子」は第1因子がマイナス側に多く分布している。「知的・大人・イケメン」と評価された男性有名人を好きな被験者は、優柔不断な草食系男子を許容できないということである。また、「Cヒーロー」は第2因子がプラス側に多く分布していることから、おしゃれに気を遣う男性が好きな被験者は、自身も流行に敏感であることから、若手の人気俳優をトレンドとして支持していると思われる。

図3-2のイメージ評価カテゴリーE～Hの結果を見ると、「Fプレイボーイ」と評価された男性有名人は、第2因子がプラスの側に多く分布していることがわかる。言い換えると、おしゃれな男性を理想とする被験者は、自分が好きな男性有名人を、男らしくて、浮気性であると評

価しているということである。すなわち、男性に対して外見重視の傾向が強くみられる。また、「G 純粹男子」と評価された男性は、第2因子がマイナス側に多く分布していることがわかる。これは、おしゃれな男性を許容できない被験者は、草食系で女性に対して誠実なイメージを持つ男性、すなわち女性との交際に対して消極的な男性を好むということであり、男性の外見よりも、性格や人柄を重視していると思われる。

図 4-1、図 4-2は、理想の男性像に関する意識調査の第3因子“非束縛”を横軸に、第4因子“経済観念”を縦軸にとった座標軸上に、各男性有名人を選んだ被験者の因子得点の平均値を分布させたグラフである。また、男性有名人を、A～Hの領域ごとに、記号と色を変えて表示している。

図 4-1より、第3因子、第4因子共にプラスの領域に分布している被験者は、女性を束縛せず、几帳面で経済観念がしっかりしている男性が好き（許容できる）という意識が高い女性である。彼女たちが名前を挙げた男性有名人は、ベテラン俳優や、人気アイドルグループのメンバーが多い。また、イメージ評価において「B 優等生」と評価された男性有名人が多く分布していることから、年配の大人の男性や、女性にモテないイメージの男性は、恋人や配偶者を干渉することはせず、また無駄遣いをしない几帳面で堅実な印象を持たれていると思われる。

第3因子がプラス、第4因子がマイナスの領域に分布している被験者は、束縛をしない男性を許容し、経済観念が強い男性を許容しない意識が強い。すなわち、恋人や配偶者の行動やお金の使い方に対して過剰な関心を持たない、お互い独立した関係を好む傾向が強い。この領域の被験者が挙げた男性有名人は、ベテラン男性俳優、ハリウッドスター、スポーツ選手カテゴリーなどである。イメージ評価では、「A 完璧男子」と「D 等身大」と評価をされた男性の分布が目立つ。「A 完璧男子」は、「モテる・大人」というイメージから、レディーファーストを心得た男性という意味において、また「D 等身大」と評価された男性は、「モテない・少年っぽい」というイメージから、家庭の管理を妻に任せてくれる意味において、この領域に分布しているのではないかと考える。

第3因子がマイナス、第4因子がプラスの領域に分布している被験者は、経済観念が強く、女性を束縛するタイプの男性を好む傾向が強い。いわゆる「亭主関白型」の男性を支持しているといえる。彼女たちが挙げた男性有名人は、イメージ評価で「A 完璧男子」「B ヒーロー」と定義した人気俳優が多い。「A 完璧男子」の俳優は、束縛するというよりは、女性に関心を持って見守ってくれるという意味に捉えていると思われる。「B ヒーロー」の場合は、少年のイメージが強いため、女性を頼ってくれるという意味に解釈することができる。

第3因子、第4因子共にマイナスの領域に分布している被験者は、女性を束縛する男性を許容するが、金銭感覚を身につけた几帳面な男性を許容しない意識が強い。この領域の被験者が

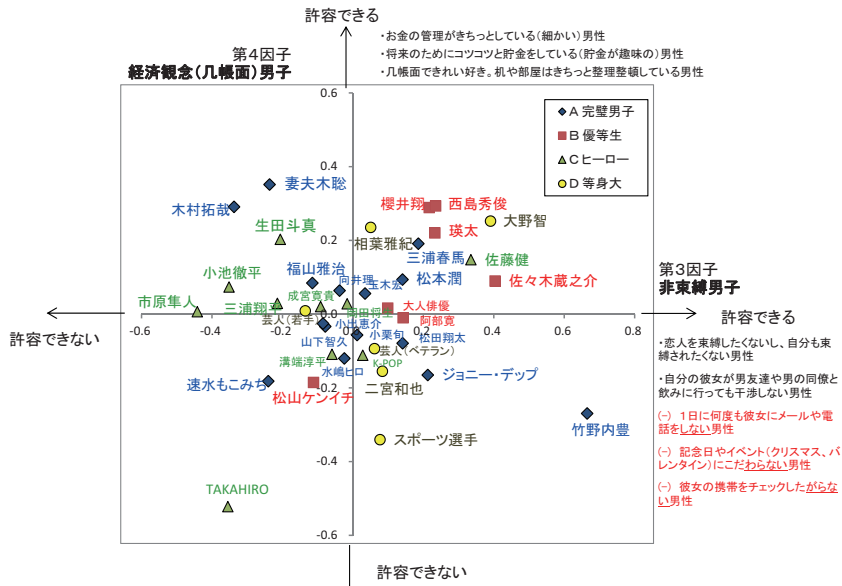


図 4-1 理想の男性像に関する意識調査 因子得点の分布 (第3因子と第4因子) ~好きな男性タレントのイメージ評価 (A~Dタイプ) による比較~

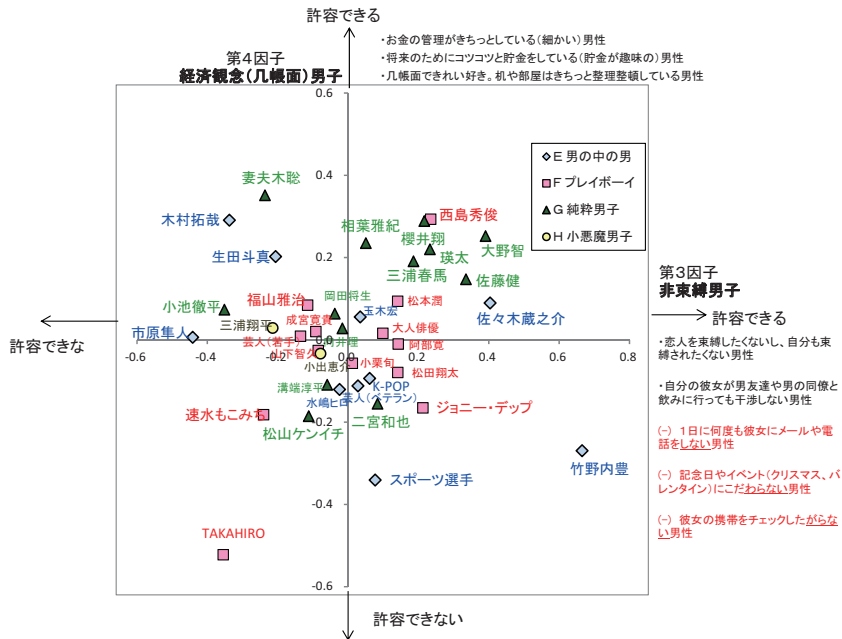


図 4-2 理想の男性像に関する意識調査 因子得点の分布 (第3因子と第4因子) ~好きな男性タレントのイメージ評価 (E~Hタイプ) による比較~

挙げた好きな男性有名人の中で、最も両因子の値が突出しているのは、男性ダンス・ボーカルユニットのメインボーカル（注10）の男性である。この男性のイメージ評価は「Cヒーロー」であり、「やんちゃ」かつ「イケメン」という印象が強く、自由奔放で、女性に対する愛情が深いと解釈されていると思われる。

男性有名人のイメージA～Dの、特徴的な分布の傾向として、「Cヒーロー」と定義した男性は第3因子がマイナス側に多く分布しており、女性を束縛する男性を許容する被験者から支持されている。前述の「A優等生」とは対照的に、「Cヒーロー」の男性は、「少年っぽい・やんちゃ」のイメージが強いことから、自立していない若い男性から、頼られたい、世話を焼きたいという意識が強く、言い換えれば母性が強い女性であるといえる。

図4-2より、イメージ評価カテゴリーE～Gの分布を見ると、「G純粋男子」と評価された男性有名人は、第3因子、第4因子共にプラスの領域に多く分布している。草食系だが女性に誠実な「G純粋男子」は、被験者の女性から、女性を束縛しないが、金銭感覚がしっかりしている、いわゆる「日本的理想の夫」とであると評価されているといえる。

「Fプレイボーイ」と評価された男性有名人は、第3因子がプラス側に多く分布している。男性に束縛されることを嫌う女性被験者は、「肉食系男子・遊び人」というイメージを持つ男性有名人を好きだということである。誠実さよりも、自身の自由を優先しているといえる。

「E男の中の男」と評価された男性有名人は、第4因子がマイナス側に多く分布している。すなわち、経済観念の強い男性を許容できない被験者は、男らしく、女性に誠実なイメージがある有名人の名前を挙げている。これらの被験者にとって、経済観念が強い（＝几帳面で神経質な）男性よりも、おおらかで気前の良い男性が理想なのではないだろうか。

4. ま と め

女子大生を対象に、好きな男性有名人とそのイメージについての官能評価を行い、理想の男性像に関する意識との関係について考察した結果、以下のことが明らかになった。

- (1) 「好きな男性有名人のイメージ評価」について因子分析を行った結果、「知的因子」「イケメン因子」「男らしさ因子」「誠実さ因子」の4因子が抽出された。
- (2) 被験者が持つ男性有名人のイメージは、俳優の場合は、ドラマや映画の中で演じた役柄の印象が反映される傾向が強い。特に若手俳優の場合、学園青春ドラマの影響が強く、若い女性が不良っぽい男性に憧れる傾向が見られる。
- (3) 男性アイドルのファンの場合、身近で親しみやすいイメージの男性を好む傾向がある。
- (4) 正義感の強い役柄（刑事、医者、弁護士等）を演じた俳優に対しては、女性に対しても誠

実であるというイメージを持ちやすい傾向がある。

- (5) 頼りないイメージの男性であっても、女性に対して誠実で一途なイメージのある男性は、被験者の女性から支持される傾向が強い。
- (6) 好きな男性有名人のイメージと、理想の男性像に関する意識との関係を考察した結果、知的だがモテないイメージの、いわゆる「優等生」タイプの男性有名人が好きな被験者は、おしゃれに無頓着で女性に消極的な草食系男子を許容する意識が高いことがわかった。
- (7) 知的で大人っぽく、女性にモテるイメージを持つ男性有名人を好きな被験者は、優柔不断な草食系男子を許容できない傾向が強い。
- (8) 「少年の心を持ったイケメン」の男性有名人が好きと回答した被験者と、「浮気性で肉食系男子」である「プレイボーイ」のイメージを持つ有名人が好きと回答した被験者は、共におしゃれに関心が高い男性を許容する意識が高い。反対に、おしゃれな男性を許容できない被験者は、女性との交際に消極的な男性を好む傾向が強く、外見よりも性格や人柄を重視している。
- (9) 「優等生」(女性にモテない大人)の男性有名人が好きと回答した被験者と、「プレイボーイ」(肉食系で遊び人)の男性有名人が好きと回答した被験者は、共に男性に束縛されたくないという意識が強い等、好きな男性のイメージは正反対であるが、理想の男性像に共通点が見られた。
- (10) 少年っぽい男性有名人を好む被験者は、束縛する男性を許容する傾向が強いことから、男性から頼られたい、世話を焼きたいという意識が強く、母性が強い女性であるといえる。
- (11) 「純粹男子」(草食系男子・女性に誠実)のイメージを持つ有名人を好きと回答した被験者の理想像は、「日本的理想の夫」(＝女性を束縛しない&金銭感覚がしっかりした男性)であった。

最後に、アンケートにご協力いただいた皆様へお礼を申し上げます。

注

注1：松山ケンイチ：『デスノート前・後編』(映画、2006年)、『デトロイトメタルシティ』(映画、2008年)、『平清盛』(NHK テレビ、2012年)、『ど根性ガエル』(テレビドラマ、2015年)に出演²⁾

注2：櫻井翔：男性アイドルグループ「嵐」のメンバー、慶應義塾大学卒業、『NEWS ZERO』のキャスター(2006年～)

注3：『ごくせん』³⁾、日本テレビ系ドラマ2002年～、三浦翔平、成宮寛貴、小池徹平、が出演、『ROOKIES』⁴⁾、TBS系テレビドラマ2008年、市原隼人、佐藤健 が出演

注4：「ツッパリ(つっぱり)プーム」：『横浜銀蠅』(ロックバンド、1980年デビュー)、『なめ猫』(キャラ

- クター, 1980年), 『ホットロード』(日本の少女漫画, 紡木たく著, 1986年~1987年, 集英社), 『ビーバップ・ハイスクール』(漫画1983年~2003年, 講談社)(映画1985年~1988年)
- 注5: 『嵐』: 日本の男性アイドルグループ, ジャニーズ事務所所属, 1999年デビュー, メンバーは, 大野智, 櫻井翔, 相葉雅紀, 二宮和也, 松本潤の5名
- 注6: 水嶋ヒロ⁵⁾: 『仮面ライダーカブト』(テレビ朝日系, 2006年), 佐々木蔵之介⁶⁾: 『離婚弁護士』(フジテレビ系2004年~2005年), 『大河ドラマ 風林火山』(NHK, 2007年), 『ハンチョウ〜安積班〜シリーズ』(TBS系ドラマ, 2009年~2013年), 『医龍—Team Medical Dragon—』(フジテレビ系2006年~2014年) 木村拓哉: 『HERO』⁷⁾(フジテレビ系: 2001年~2014年, 映画2007年, 2015年), 市原隼人⁸⁾: 『ウォーターボーイズ2』(フジテレビ系2004年), 『ROOKIES—ルーキーズ—』(TBS系2008年), 『ワイルドライフ 国境なき獣医師団 R.E.D.』(NHK2008年), 竹野内豊⁹⁾: 『BOSS』(フジテレビ系2009年, 2011年), 『利家とまつ〜加賀百万石物語〜』(NHK大河ドラマ, 2002年)
- 注7: 『花より男子』(TBS系2005年, 2007年, 映画2008年): 松本潤(道明寺司役), 小栗旬(花沢類役), 松田翔太(西門総二郎役)で出演 成宮寛貴¹⁰⁾: 『NANA2』(映画, 2006年, 寺島伸夫役), 『ごくせん THE MOVIE』(映画, 2009年)
- 注8: 『an・an』¹¹⁾「好きな男ランキング」: 福山雅治(1999年~2008年2位), 松本潤(2008年4位), 山下智久(2008年6位), 小栗旬(2008年9位)
- 注9: 小池徹平¹²⁾: 『シバトラ〜童顔刑事・柴田竹虎〜』(フジテレビ系, 2008年~2010年, 少年係新米刑事の柴田竹虎役; 中学生にしか見えない外見の刑事), 『おひとりさま』(TBS系, 2009年, 臨時教師, 草食系男子役) 岡田将生¹³⁾: 『オトメン(乙男)〜夏〜』『オトメン(乙男)〜秋〜』(フジテレビ系2009年) 妻夫木聡¹⁴⁾: CM『トヨタ自動車・未来のドラえもん編(2011年)』; 野比のび太30歳役, CM『ロト7』(2013年~); サラリーマン役 瑛太¹⁵⁾: CM『住友生命「仕事で1UP」シリーズ』¹⁶⁾のサラリーマン役
- 注10: TAKAHIRO¹⁷⁾: 日本のダンス&ボーカルユニット EXILE, ACE OF SPADES のボーカル
- 注11: ジョニー・デップ: アメリカ合衆国の俳優, 代表作『シザーハンズ』(1990), 『パイレーツ・オブ・カリビアン』(2003・2006・2007・2011), 『チャーリーとチョコレート工場』(2005)
- 注12: 木村拓哉: 男性アイドルグループ SMAP のメンバー。「キムタク」の愛称で知られる。
- 注13: 向井理¹⁸⁾: 俳優, 明治大学農学部生命科学科卒業, 代表作『連続テレビ小説 ケゲケの女房』(NHK, 2010年)
- 注14: 速水もこみち¹⁹⁾: 俳優, 趣味「料理」, レシピ本『速水もこみちが作る50の料理 きみと食べたなら, きっと美味しい。』(マガジンハウス, 2010)。
- 注15: 木村拓哉は, バラエティ番組『SMAP×SMAP』²⁰⁾の料理コーナー「ピストロスマップ」において料理の腕をふるっている。向井理は味の素のCM²¹⁾において, 料理のレシピを紹介している。速水もこみちは, 日本テレビ系『ZIP!』²²⁾において「MOCO'S キッチン」(2011年4月~)を担当している。

引用文献

- 1) 三木幹子, 「女子大生の恋愛と結婚に対する意識調査—理想の男性像と, 男性への許容意識との関係—」, 広島女学院大学論集, 第63集(電子版第3号), pp. 103-117, 2016
- 2) 『日本タレント名鑑』, <http://www.vip-times.co.jp/> (2016年10月9日閲覧)
- 3) 『ごくせん公式サイト』, <http://www.ntv.co.jp/gokusen/> (2016年10月9日閲覧)

- 4) 『ROOKIES 公式サイト』, <http://www.tbs.co.jp/rookies08/> (2016年10月9日閲覧)
- 5) 『水嶋ヒロ オフィシャルサイト』, <http://www.mizushimahiro.jp/> (2016年10月9日閲覧)
- 6) 『佐々木蔵之介／株式会社ケイファクトリー』, <http://www.k-factory.net/profiles/kuranosuke-sasaki>, (2016年10月9日閲覧)
- 7) 『HERO 公式サイト』, <http://www.fujitv.co.jp/HERO/index.html> (2016年10月9日閲覧)
- 8) 『市原隼人オフィシャルサイト』, <http://official.stardust.co.jp/hayato/>, (2016年10月9日閲覧)
- 9) 『竹野内豊オフィシャルサイト』, <http://www.ken-on.co.jp/takenouchi/>, (2016年10月9日閲覧)
- 10) 『成宮寛貴 TOP COAT』, <http://www.topcoat.co.jp/artist/narimiya-hiroki/>, (2016年10月9日閲覧)
- 11) 『an・an 2008年10月1日号』, マガジンハウス社, 2008年
- 12) 『小池徹平オフィシャルモバイル』, <http://teppei.fanmo.jp/>, (2016年10月9日閲覧)
- 13) 『岡田将生 スターダストプロモーション公式プロフィール』, <http://www.stardust.co.jp/section3/profile/okadamasaki.html>, (2016年10月9日閲覧)
- 14) 『妻夫木聡 Official Web Site』, <http://www.horipro.co.jp/tsumabukisatoshi/>, (2016年10月9日閲覧)
- 15) 『瑛太 OFFICIAL WEBSITE』, <http://www.eita.jp/>, (2016年10月9日閲覧)
- 16) 『住友生命 1UP スペシャルサイト』, <http://1up.sumitomolife.co.jp>, (2016年10月9日閲覧)
- 17) 『EXILE TAKAHIRO-EXILE mobile』, <http://m.ex-m.jp/artist/index/8>, (2016年10月9日閲覧)
- 18) 『向井理公式プロフィール』, <http://www.horiagency.co.jp/talent/mukai/>, (2016年10月9日閲覧)
- 19) 『速水もこみちオフィシャルサイト』, <http://www.ken-on.co.jp/hayami/index.html>, (2016年10月9日閲覧)
- 20) 『SMAP×SMAP-フジテレビ』, <http://www.fujitv.co.jp/smmapsmap/bistro/>, (2016年10月9日閲覧)
- 21) 『AJINOMOTO 商品情報サイト』, <http://www.ajinomoto.co.jp/chukadashi/marudori/>, (2016年10月9日閲覧)
- 22) 『ZIP Web』, <http://www.ntv.co.jp/zip/>, (2016年10月9日閲覧)

参 考 文 献

- 三木幹子, 植木由香, 「女子大学生と女子高校生の恋愛観・結婚観とジェンダー意識との関係」, 広島女学院大学論集, 第60集, pp. 95-109, 2010
- 三木幹子, 植木由香, 「女性と男性の恋愛観・結婚観に関する意識比較」, 広島女学院大学論集, 第61集, pp. 95-112, 2011
- 三木幹子, 「男性の恋愛観とジェンダー意識との関係」, 広島女学院大学人間生活学部紀要, 第2号, pp. 1-12, 2015年3月